

令和3年度B日程
学力検査問題

①

国語

注意

- 1 開始の合図があるまで問題用紙を開いてはいけません。
- 2 解答用紙は問題用紙の中に挟んであります。
- 3 問題用紙は表紙を除いて6ページで、問題は□一から□三まであります。
- 4 開始の合図があったら、まず、問題用紙および解答用紙の所定の欄に
志願先高等学校名と受検番号を書きなさい。
- 5 答えはすべて**解答用紙の指定された欄**に書きなさい。

志願先高等学校名

高等学校

受検番号

□ 次の(一)～(五)の問いに答えなさい。

(一) 次の1・2の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書け。

1 柔和な表情をする。

2 装飾を施す。

(二) 次の1・2の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書け。

1 素晴らしい手腕にケイフクする。

2 食事会の席をモウける。

(三) 次の行書で書かれた漢字の部首の名称を、ひらがなで書け。

箱

(四) 次の短歌とその鑑賞文を読み、後の1・2の問いに答えよ。

著作権保護のため掲載していません。

1 鑑賞文中の a に当てはまる品詞名として適切なものを、漢字で書け。

2 鑑賞文中の b に当てはまる言葉として最も適切なものを、次のア～エから一つ選

び、その記号を書け。

ア 明暗

イ 強弱

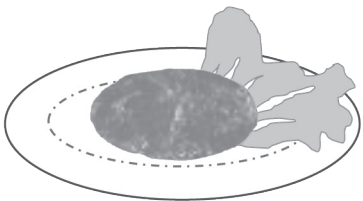
ウ 悲喜

エ 清濁

- (五) ひろみさんは、家庭科クラブで作ることになったレシピ集の中で、ハンバーグのレシピを担当することになった。次の【レシピ】は、ひろみさんがまとめたものである。これを読み、後の1～3の問いに答えよ。

【レシピ】

ハンバーグ



〔材料〕（4個分）

- ・ひき肉…250g
- ・玉ねぎ（大）…2分の1個
- ・牛乳…大さじ4
- ・パン粉…大さじ4
- ・塩、こしょう…少々
- ・サラダ油…適量

〔作り方〕

- ① 玉ねぎをみじん切りにする。
- ② フライパンにサラダ油を熱し、みじん切りにした玉ねぎをきつね色になるまでいためる。冷めるまでいためた玉ねぎは置いておく。
- ③ パン粉を湿らせておく。
- ④ ボウルにひき肉を入れ、玉ねぎ、パン粉、塩、こしょうを入れて、粘りが出るまで手でよく混ぜる。
- ⑤ ④の4分の1の量を手に取り、右手と左手でキャッチボールをするようにして空気を抜く。
- ⑥ だ円形に形を整え、真ん中を指で押さえてくぼませる。
- ⑦ フライパンで、両面に軽く焦げ目がつくまで焼いた後、蓋をして蒸し焼きにし、中まで火を通す。
- ⑧ 皿に盛り付ける。

☞ワンポイント・アドバイス

竹串を刺して、透明な肉汁が出てくれば、中まで火が通ったと判断できる。

1 ひろみさんは、【レシピ】を見直しているうち、「材料」にあるのに、「作り方」には書けていないものがあることに気づいた。その材料名を、【レシピ】中からそのまま抜き出して書け。

2 ひろみさんは、【レシピ】中の——線部の「冷めるまでいためた玉ねぎは置いておく。」が、言葉の順序が適切でない文であることに気づいた。——線部を、言葉の順序が適切な文となるように、言葉の順序を入れ替えて、一文で書け。

3 【レシピ】中の「作り方」の書き方を説明したものと誤っているものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア 作業の目安を、視覚や触覚に関する表現を用いてわかりやすく表現している。
- イ 手順の中で判断が難しい点について、ワンポイント・アドバイスで補っている。
- ウ 情報が的確に伝わるように、多くの人が理解しやすい比喻を用いて説明している。
- エ 時間や分量を数値で明確に表すことで、初心者でも作れるように工夫している。

二 次の文章を読み、後の(一)～(四)の問いに答えなさい。

著作権保護のため掲載していません。

(一) 文章中から次の一文を抜いてあるが、文章中の **ア** ～ **エ** のうち、どこに入れるのが最も適切か、記号で書け。

現代のプラスチックと似ている。

(二) 文章中の——線部1の「石炭にしてもおなじことだ」とはということか。その内容を、次のように説明するとき、**□** に当てはまる適切な言葉を、「時間」という言葉を必ず使って、**三十字以上四十字以内**で書け。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

石炭と石油は、**□** ということで共通しているということ。

(三) 文章中の——線部2に「地球自身も持っているリサイクルのしくみから、はみ出ってしまったている」とあるが、筆者はここでどういうことを述べているか。その内容として最も適切なものを、次の **ア** ～ **エ** から一つ選び、その記号を書け。

ア 地球には、あらゆる異物を分解し自然にかえしていくというリサイクルの機能がそなわっているが、プラスチックは天然のものではなく人工物であるために、プラスチックを分解する微生物は科学技術の力で生み出さなければならぬということ。

イ 地球には、長い年月をかけて資源をつくり上げたり二酸化炭素をリサイクルしたりする力があったが、人間が大量にプラスチックをつくりだすことで急激に資源が減少したうえに、地球のリサイクルのスケールでは再利用も間に合わなくなったということ。

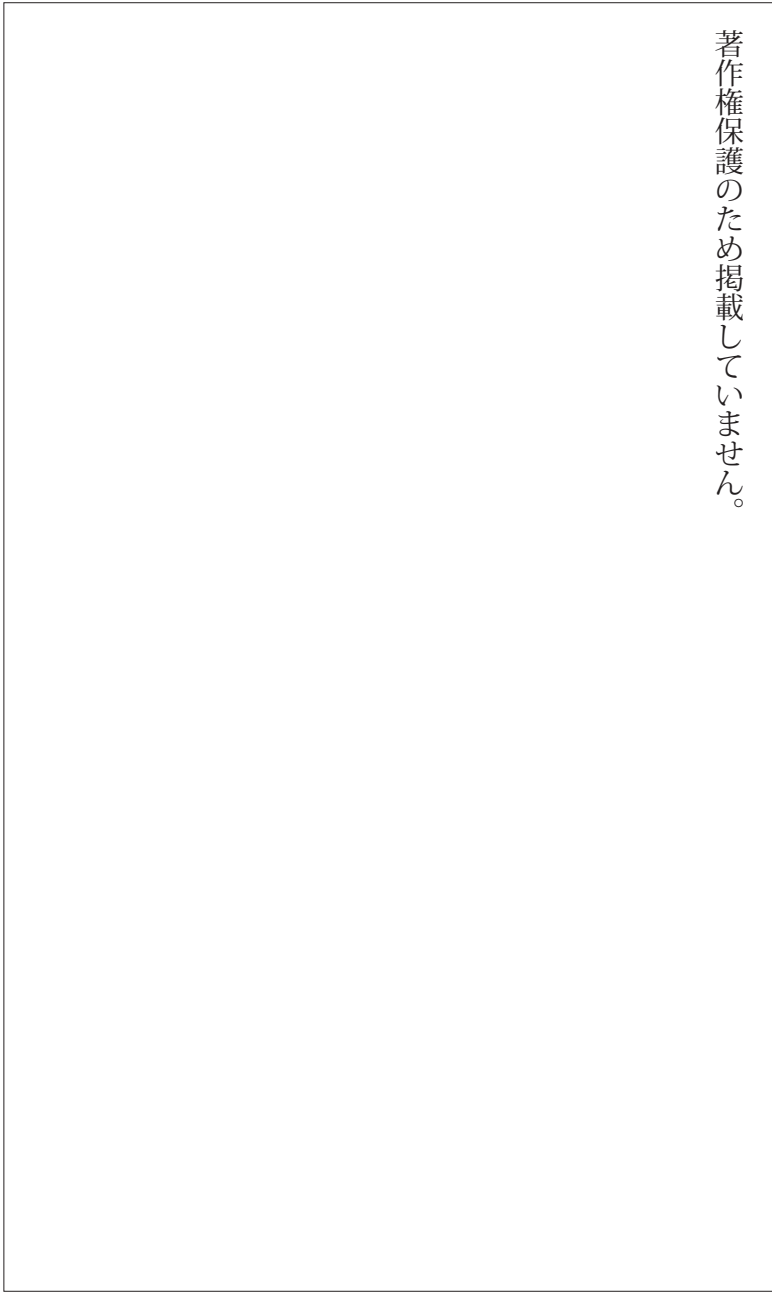
ウ 地球上では、長い歴史の中で生き物の体を分解する微生物が生まれ、自然の炭素リサイクルがうまく回っていたが、プラスチックは自然界の物からつくられたにもかかわらず、微生物が分解することの難しい人工物になってしまったということ。

エ 地球上では、石炭や石油、動植物などのさまざまなものが長い時間をかけてできたり進化したたりしてバランスのとれた生態系がつけられてきたが、プラスチックの処理は地球のリサイクルの枠を超えており、生態系を危険にさらしているということ。

(四) 文章中の——線部に「プラスチックごみの問題」とあるが、筆者は、プラスチックごみの問題を解決することについて、この文章の後で次の【資料】のように述べている。この【資料】を読み、後の問いに答えよ。

【資料】

著作権保護のため掲載していません。



問い プラスチックごみの問題を解決することについて、【資料】中で筆者はどのように述べているか。また、そのような筆者の考えについて、あなたはどうか考えるか。次の条件1～3にしたがって書け。ただし、句読点その他の符号も字数に数えるものとする。

条件1 全体を八十字以上百字以内にとめること。

条件2 最初に、筆者の考えを説明し、次に、それに対する自分の考えを書くこと。

条件3 自分の考えについては、必ず、なぜそう考えるかという理由を明らかにして書くこと。

〔三〕 次の文章を読み、後の(一)～(三)の問いに答えなさい。

ある吝嗇りんしやくなるもの、「ことしはことにもの費やしぬ」とて、および折りてかぞへたてぬ。「まづ春より秋まで、かのいたづきによって、のめる薬もかばかりなり、それにかかる事もありし」などかぞへつづいふを、つくづくとききぬし人が、「いとさりがたきがうへに、君が身2につきたるものひとつあり。是これをいかで費えといはん」といへば、「なになるや」ととふ。「薬のみ給たまはずば、かく今日なげき事もえいひ給はじ。かくいひ給ふは薬のめぐみなれば、それにむくひ給ふを費えと心得給ふか」といひし。かのひとはこれに費えとせちに思ひけんかし。

(松平定信『花月草紙』による)

(注) 吝嗇なるもの…ひどく物惜しみをする人。けちな人。

および…指。 かのいたづきによって…あの病気によって。

費え…出費。無駄遣い。 薬のみ給はずば…薬をお飲みにならなければ。

えいひ給はじ…おっしゃることができないでしょう。 せちに…ひたすらに。

(一) 文章中の——線部1の「かぞへたてぬ」を現代仮名遣いに直して、——線部全部をひらがなで書け。

(二) 文章中の——線部2の「君が身につきたるもの」とは、どのようなものか。その内容として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア 命や健康 イ 金や名誉

ウ 病気やけが エ 知恵や経験

(三) この文章で述べられている内容と合っているものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア あるけちな人が、今年は薬の効果が全く現れなかったとして、薬の代金を払ったことを悔やんでいたが、その言葉を聞いていた人は、薬は飲み続けることで効果が現れるので、薬を飲み続けるべきだと考えている。

イ あるけちな人が、今年は特に無駄遣いがあったとして、病気の時に飲んだ薬も無駄遣いだと考えていたが、その言葉を聞いていた人は、薬の恩恵はあるのだから、薬を飲むことは無駄遣いではないと考えている。

ウ あるけちな人が、今年は大損をしたとして、売れ残った薬を指折り数えていたが、その言葉を聞いていた人は、薬が売れ残るのは病気で苦しむ人が少なかったということだから、嘆くことではないと考えている。

エ あるけちな人が、今年は多くの出費があったとして、薬を買うことを節約しようと考えていたが、その言葉を聞いていた人は、今は元気でも今後病気になるかもしれないので、薬を準備しておくべきだと考えている。